



平成 29 年 5 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社プラザクリエイト
代表者の役職名 代表取締役社長 大島 康広
(JASDAQ コード番号 7502)
問 合 先 常務取締役管理本部長 村瀬 伸行
T E L 0 3 - 3 5 3 2 - 8 8 2 6

平成 29 年 3 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成29年2月10日に公表しました平成29年3月期通期の連結業績予想につきまして、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回業績予想 (A)	22,000	400	100	100	7.33
今回実績 (B)	21,991	91	△201	12	0.95
差異額 (B-A)	－	△309	△301	△88	
増 減 率 (%)	－	△77.3	－	△88.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	21,003	△139	△563	△832	△60.47

2. 修正の理由

当平成29年3月期累計期間におけるプリント事業の売上高は、年賀状プリント売上は既存店前年同期比103%の実績となりましたが、通期における既存店売上は前年比95%で推移しました。モバイル事業の売上高は、店舗数増加に伴う販売台数の積み上げによりストック収益（継続手数料収入）の増加とあわせて堅調に推移したことにより、売上高はほぼ予想通りと見込んでおります。

営業利益については、プリント需要の落ち込みによる第4四半期既存店売上高が当初見込に達しなかったこと、計画外の店舗システム刷新等の先行投資費用、持分法適用関連会社であったシンプレスジャパン株式会社の設立パートナーとの資本提携解消にともなう新たな協力工場の立ち上げ支援および、新メニュー開発費用に加え、世界初のセルフ方式による写真印画紙プリンタ「ファーストラボ」の量産化遅延にともなう販売台数減等により、予想を3億9百万円下回る91百万円（前期；営業損失1億39百万円）に修正いたします。

経常利益については、持分法による投資損失などにより予想を3億1百万円下回る経常損失201百万円（前期；経常損失5億63百万円）に修正いたします。

親会社株主に帰属する当期純利益は、保有株式およびラボ機の売却、「フォト&モア」店リニューアルに伴う店舗設備の廃棄などにより、予想を88百万円下回る12百万円（前期；当期純損失8億32百万円）に修正いたします。

※上記予想につきましては発表日現在のデータに基づき作成したものであり、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上